

JAITI 30

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの簡文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる権利」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 財団法人 日本農業研修場協会
事 務 所 〒386-0502 長野県小原郡武石村沖456
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583
東京連絡所 〒113-0031 東京都文京区根津1-19-3 (小林榮)
TEL 03-3828-9263 FAX 03-3828-9262

今日のジャイチ

到頭・漸く・何とか、どの言葉が当て嵌まるか判りませんが、三十号をお届けします。
一九九一年六月創刊以来、順風満帆でなくも、焦らず、一歩一歩出来る事より、先ず行動し、継続するを心掛けて、皆様の強い、熱いご支援を頂戴したお陰様で、今日に至りました。厚く御礼申しあげます。

年二回の限られた紙面で、支えて下さっている皆様へ、現況をしっかりと伝えし、ご理解を得て、繋がり是非保って頂きたく存じます。
活動地のネパールでは、反政府組織の白粉マオイストにより、不安定な社会状況が続いており、ジャイチへも高額の資金要求が届けたりしています。これに対し当団は、一貫して、一円たりとも不条理な金子は払わない。我々の活動主旨を説明し、理解させる努力を続けています。それでも尚、

昨年一月と同様な危害を再度受ける事態が発生した場合は、一端事業を凍結して、引き揚げることも辞さない覚悟です。ご理解ください。

理事長退任の挨拶

理事会において、全員の同意を得て、私は理事長を退任するお許しを受けました。

今後は、一理事として、ジャイチの事業継続に協力をさせて頂く所存です。

又、理事会の席で、設立者であること、これまで資金面で協力をしてきたことを理由に、皆様から、名誉理事長として残るようにとの暖かいお言葉も受け賜り、有難くお受けすることに致しました。御礼申し上げます。

新理事長に就任された菊池健介氏は、皆様のご承知の通り、設立以来ずっと、私と二人でジャイチを運営してまいりました。今後は、今まで私にお寄せくださいました以上に、皆様のお力を与えてあげてください。

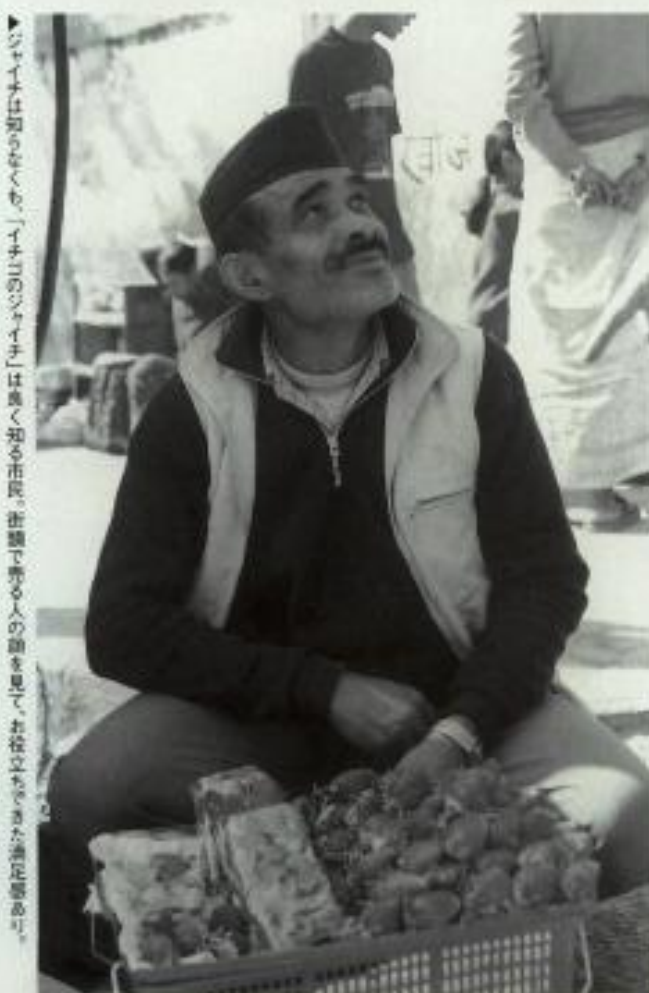
簡単ですが理事長退任のご挨拶と致します。
平成17年8月21日 小林 榮

理事長就任の挨拶

理事会に於いて、理事各位の総意により、ジャイチ第四代理事長の指名を受け、就任を受諾致しました。

小林榮前理事長の体調不良が因の急遽の就任ですが、先ずは、前理事長の残任期間、平成18年3月末日迄の間、初代小林茂夫、二代室賀弥三郎、三代小林榮理事長が皆嘗と築き上げた当財団の小規模ではあっても、足をしっかりと地に着けた、現場主義の論より行動を実践する姿勢を守りたく存じます。

ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。
平成17年8月21日 菊池 健介



ジャイチは知らぬ者も、「イチゴのジャイチ」はよく知る市民。街頭で売っている人の顔を見て、お役立ちできた満足感あり。

◆日本の活動状況

九月一日より、事務局は

- ◆業務執行態勢変更
八月二十日の理事会で決定。理事長退任と就任挨拶の要旨を右に別掲します。
- ◆理事長交替
八月二十日の理事会で決定。理事長退任と就任挨拶の要旨を右に別掲します。
- ◆常務理事・事務局長退任
十月三十一日付にて、鎌田陽司が退任しました。理事として残ります。
- ◆尚、本職務の後任者が決まるまでの間、理事長が兼務して業務進行しています。
- ◆ネパールの活動状況
カカニ農場と学校二校に

関しては次回に掲載。
農業指導担当の土屋興重さんが、今期限りでネパールへ赴かないことになりました。残念です。今後は、評議員として残り、助言を貰えることになっています。

◆最後にお願いです
ネパールでも、日本でも経費節減の努力を続けていますが、それでも尚、活動資金が不足しています。
「ご協力有難うございました」欄にも掲載の通り、全国の大勢の皆様より支援を受けている上に、更に恐縮ですが、回りの方々で、ご賛同願える方がいらしたら、是非、一助言ください。よろしくお願い致します。

(菊池)

ネパールからの報告

ジャイチネパール

◆農業活動

今日現在迄、カカニ農場のイチゴとキウイフルーツの栽培、生産は満足な状態で続いています。独立採算



▶ SLC試験で合格した生徒たちのお祝いセレモニー。



▶ パンフアント学校の女生徒たちが昨年マカライネパール郡の61の中学校の試合で一番になって旗をもちました。

で農場管理責任を負う、ウクバ・シェルバさんが、毎年二〇〇〇ルピー(二五、〇〇〇円位)を、ジャイチネパールに支払う契約を結んでいます。

昨年からは、シンパンジャンのナムター村にも、上屋さんの指導で、イチゴの実験栽培を始めています。更に、同地域のキャベツの根腐病で困っている農家の畑で、日本の新品種の種を導入して、実験栽培をしました。結果が良くて、農家たちは喜び、日本からの種の供給を希望しています。

詳しくは三頁の土産農業指導員の報告をご覧ください。

◆バシフアント学校

●SLC卒業試験結果

昨年、第三回目のSLC試験に出た十四人の生徒が全員合格したことで、生徒、親、教師、ジャイチネパールの皆が、積極的にもっと良い成績を取るため、教育の質向上のため、頑張る気持ちになっています。

●スポーツ結果報告

二〇〇五年四月、マカライネパール郡の六十一校の中学校対抗バレーボール大会で、女子は一位、男子は二位の

成績でした。

●ダサインのプレゼン

ネパールで一番大切な祭典、ダサインの時、毎年、小林みよ子、鎌田はなよさんが、全校生徒に衣服や帽子を贈っていました。昨年、都合悪くて訪問できず、代わりにグルンさんが、十月二日、生徒に贈りました。

◆カカニライター学校

●学校施設建設完成

二〇〇四年四月から始めた建設工事は、期間中、ネパールの政治的ストライキが多くて、漸く昨年七月完成しました。この工事費用全額は、日本の気前良い方、帯瀬憲五さん一人の寄付金でした。建物面積は約四、六二二平方フィート。

二階建ての建物には、十一の部屋と一つの体育館があります。

(い)教室

教育法で決められた面積以上の部屋と、大きなトイレ(男女別々)が出来てます。幼稚園教室の床は、ベニヤ板敷きで暖かいです。

(ろ)運動場

生徒たちがサッカーとバレーボールの出来る二、九〇〇平方フィートの広場と、体育館が出来てます。

▶ カカニライタースクールの子供たちのために作られた遊具(つりばし)付きすべり台。



▶ 昨年七月にカカニライター農場で行った小学校の教師たちの夏休みのトレーニング。



(は)教材

授業用教材、楽器、テレビ、CDビデオプレーヤー、オーバードヘッドプロジェクトター、パソコンの用意が出来ています。

(に)備品

黒板、デイスプレーボード、カップボードの用意が出来ています。

●親達の評価

昨年五月より始まった授業は順調に進んでいる。親達の評価調査を、今までに三回実施した結果は、大変満足の気持ちを表しています。

◆教師の研修

カカニライター校から六人、バシフアント校から二人の計八人の小学校レベルの教師が、七月に一週間の研修を受けました。

教育目標を決めて、自分の責任を自覚、科目のことを研究し有効に教える、統一した授業計画を作り、実現する等を研修しました。

この良は、ジャイチネパールの運営を担う、ビム・ラル・グルン、マン・バハドール、シュレスタ両名の本誌三十号用に、主に平仮名記述の日本語で寄稿を受けた原稿を漢字転換、誤記修正、語彙の並べ替えを必要最小限にして、掲載しています。多少読み悪い面と理解、判断に苦慮されることがあるかもしれませんが、真の現地報告に触れて、視点が近付けばと願っています。

事務局だより

▼ジャイチ

- 7月 機関誌29号を発送
- 8月 国際農林業協力・交流協会へ専門家支援事業の申請書提出
理事会・評議員会(役員選出・資産運用)
- 8月 農業指導のため、土壌農薬指導員をネパールへ派遣
事務局3日体制に変更(月・水・金)
- 10月 グローバルフェスタ(日比谷公園)参加
また国際交流フェスティバル参加(長野県)国際農林業協力・交流協会へ完了報告書提出
茶畑理事長・鎌田事務局長が総合指導でネパールに出張
- 11月 第16回ジャイチツアー実施8名参加
ジャイチネパールのマン支配人(休暇で来日)(社)JA長野開発機構と上田第三中学校で講演
理事会・評議員会書面表決(渡山土地売却)
機関誌30号編集会議
長野県に基本財産処分認可申請を提出
両月認可される
- 12月 機関誌発行作業
バザーを有難うございます。
横津バザー(東京都)
住田谷フリーマーケット(東京都)
グローバルフェスタ(東京都)
また国際交流フェスティバル(長野県)

▼ジャイチネパール

- 7月 カトマンズ事務局で小学校教師の研修。SLC試験合格発表。全員合格。
カカニライター校工事完了。
カカニ農場でイチゴの苗作り始まる。
- 8月 パシファント学校で父兄、教師、保護会、校内寄宿生との会議。
シンパンジャンのナムター村に、イチゴ定植。(実験栽培目的)
カカニ農場のイチゴ定植始まる。
カトマンズ事務所改築工事完了。
- 9月 土壌農薬指導員、シンパンジャン地域のイチゴとキャベツの栽培指導。
カカニ農場のイチゴ定植完了。サツマイモの収穫。
ジャイチネパールの2004年7月から2005年7月の後所得出用会計報告出来上がり。来月提出予定。
- 10月 パシファント学校でPTA会議とデザイン用衣類贈呈。
カカニ農場のサツマイモとキウイフルーツの収穫。販売。
茶畑理事長鎌田事務局長訪問あり。
- 11月 パシファント学校でPTA会議
ナムター村のイチゴ、収穫と販売。
カカニ農場、キウイフルーツとイチゴの収穫と販売続く。
ジャイチツアーグループ訪問あり。
- 12月 パシファントとカカニ学校の期末試験を実施。
カカニ農場、イチゴの収穫と販売が続く。イチゴの葉に蜂の目病発生多く、対応策を検討中。
ナムター村農民より、キャベツ種子の購入希望が強く。

パシファント学校奨学里親募集

二〇〇六年度の五年生から十年生まで学年単位二学年あたり二名(の里親を募集しています)。
奨学金は年間六万円です。期間は基本的にはその学年が十年生を卒業(六年生は五年間、八年生は三年間)するまでです。
すでに新五年生は長野県の島田基正さん・愛知県

の藤原純子さん、新六年生は静岡県石井泰子さん、新八年生は東京都の柳エス、アイ・エス干場公紀さんが里親になってくださいました。里親になっていただきますと、学生からの手紙・写真の送付と、学年末に進級報告があります。皆様のお申し出をお待ちしております。(事務局)

ジャイチツアー紀行 パシファント学校の 衛生教育

私は職業柄、また他のNGOで学童の衛生教育や検診などにかかわってきたので、そのことに興味があつた。

た。ケーシーさんの紹介で衛生教育を担当している看護婦に会うことができた。彼女は学童の健康管理と健康に関するクラスも受け持っていた。

保健室に案内され彼女の仕事についてお話を伺うことができた。ちょうど生徒が私たちの後をついて入ってきた。お腹が痛いという。彼女は生徒をベッドに寝かせ、いくつか質問しながら腹部の診察をして薬を処方した。一日に四〜五人の生徒と時には地域の人も診察に訪れるという。他の学校には無い、保健室の役割は大きい。また、健康管理の一環として、三ヶ月に一回、身長体重を測定して成長の状況を把握しているとのこと。

衛生教育の基本である、

▶ベトナムのレストランでネパール医師団を撮影。(前列左から三人目、富田さん)



手洗いの水道設備、トイレの設備はネパールで最高レベルではないだろうか。この地から衛生に関する考え方が、ネパール全土に

広まっていくことを願っている。

長野県 富田 万里子
富田さんは看護婦で、後輩の育成に力を注いでいます。

お知らせ

◆古切手の収集が続いています。切手の回りに五ミリの余白を残してください。
古切手送付先
〒一五八〇〇八四
世田谷区東玉川一〇一

◆第十七回ネパールの農場と学校訪問の旅予告
●日程 十一月五日(日)〜十二日(日) 七泊八日
●費用 二十四万円を予定

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。火山館を経て湯の平まで浅間山(本当は首掛山)を見に行ってきた。積雪は一メートルほど。

そこは、人の世の喧騒をよそに、青空の下に雪雲を織った浅間と雪の壁と化した里山に囲まれた神の住む世界であった。人間社会の急変が感じられている時令、心洗われる風景だ。

本来の山岳信仰とは違うかもしれないが、神聖な山岳を畏れ敬める気持ちは大切にしたい。(武石村 基)

物語者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物語者を掲載いたします。ご冥福をお祈りいたしますと共に、今までのご支援に対し感謝致します。

田中 功雄 十五年七月
(奈良県)

島田泰吉様 十七年六月
(東京都)

伊東あき子様 十七年八月
(愛知県)

渡嘉敷哲様 (東京都)

吉岡宏行様 十四年十月
(千葉県)

笠原 貞様 十七年七月
(長野県)